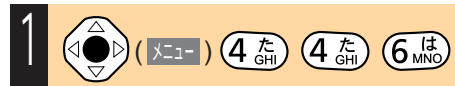
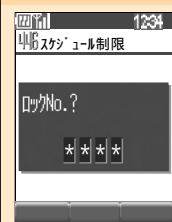


機能番号446 スケジュール制限

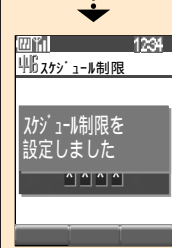
カレンダーに関する操作をできないようにします。スケジュール制限の解除は同様の操作で行います。



2 ロックNo.を入力する



4桁の数字を入力します。ロックNo.は「*」で表示されます。



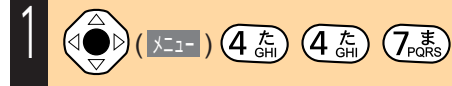
設定完了の画面が表示されます。

お知らせ

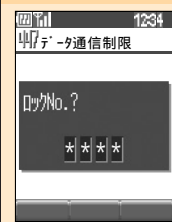
スケジュール制限中にカレンダーに関する操作を行うと「スケジュール制限設定中です」と表示され、ロックNo.入力画面になります。ロックNo.を入力すると制限が一時解除されます。

機能番号447 データ通信制限

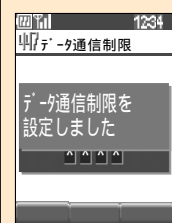
データ通信ができないようにします。データ通信制限の解除は同様の操作で行います。



2 ロックNo.を入力する



4桁の数字を入力します。ロックNo.は「*」で表示されます。



設定完了の画面が表示されます。

お知らせ

データ通信制限中にデータ通信に関する操作を行うと「データ通信制限設定中です」と表示されます。

機能番号45 着信拒否

特定の電話番号や電話番号が通知されない着信を拒否することができます。また、着信を拒否するときに相手にメッセージを流したり、拒否設定の着信を着信履歴に記憶するかしないかの設定ができます。

機能番号	機能	内容
機能番号 451	指定番号拒否	特定の相手(電話番号)からの着信を拒否することができます。応答メッセージとして「この電話番号からの電話はお受けできません。」が流れます。
機能番号 452	非通知拒否	番号通知を非通知にしている相手からの着信を拒否することができます。応答メッセージは2種類から選択できます。 ・応答メッセージ1 「この電話番号からの電話はお受けできません。」 ・応答メッセージ2 「発信者番号通知がされておりません。電話番号の頭に186をつけておかけ直してください。」
機能番号 453	公衆電話拒否	公衆電話からの着信を拒否することができます。応答メッセージは2種類から選択できます。 ・応答メッセージ1 「この電話番号からの電話はお受けできません。」 ・応答メッセージ2 「公衆電話からの電話はお受けできません。」
機能番号 454	通知不可拒否	番号通知ができないエリア、電話機からの着信を拒否することができます。応答メッセージとして「この電話番号からの電話はお受けできません。」が流れます。
機能番号 455	着信履歴保存	着信拒否した着信を着信履歴に保存するかどうかを設定できます。
機能番号 456	着信拒否解除	指定番号拒否、非通知拒否、公衆電話拒否、通知不可拒否をすべてOFFにすることができます。着信拒否解除を行っても、指定番号拒否に登録した電話番号は削除されません。

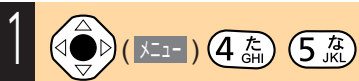
最初の2桁を入力するとロックNo.の入力画面が表示されます。3桁目はロックNo.の入力後に入力してください。

ご注意

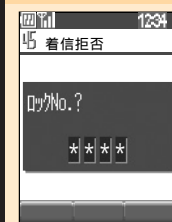
割込通話サービス [P478] の着信は着信拒否をすることはできません。

お知らせ

着信拒否設定に該当する着信があったときは着信音やサブディスプレイ/着信ランプでのお知らせをしないで、画面に着信拒否起動中のメッセージが表示されます。



2 ロックNo.を入力する



4桁の数字を入力します。ロックNo.は「*」で表示されます。



設定項目選択画面が表示され、現在の設定が表示されます。

機能の使いかた

セキュリティについての機能

3

設定する項目を選択します。

お買い上げ時は以下の設定になっています。

指定番号拒否 : OFF
非通知拒否 : OFF
公衆電話拒否 : OFF
通知不可拒否 : OFF
着信履歴保存 : ON

4

各拒否の設定のしかたについては下記ページをご参照ください。

- ・指定番号拒否 [下記](#)
- ・非通知拒否 [P323](#)
- ・公衆電話拒否 [P323](#)
- ・通知不可拒否 [P323](#)
- ・着信履歴保存 [P324](#)
- ・着信拒否解除 [P324](#)

機能番号451 指定番号拒否

電話番号を登録する
特定の番号を10件まで設定できます。

1 「指定番号拒否」を選択

選択のしかた (機能番号 45 操作1~3 [P319](#)、[P320](#))

2 (選択)

電話番号の登録画面が表示されます。登録するNo.を選択します。

(メニュー) を押すと内容の確認/削除ができます。

3 (編集)

電話番号の入力方法の選択画面が表示されます。

- 「着信履歴引用」 : 着信履歴から検索して入力します。
- 「発信履歴引用」 : 発信履歴から検索して入力します。
- 「アドレス帳引用」 : アドレス帳から検索して入力します。
- 「ダイヤルメモ引用」 : ダイヤルメモから検索して入力します。
- 「直接入力」 : 電話番号を入力します。ここでは「直接入力」の説明をします。その他の項目についてはそれぞれで検索すると操作5の画面になります。

4 (OK)

電話番号を入力する

電話番号の入力画面が表示されます。拒否する電話番号を入力します。

5 (OK)

入力した電話番号が表示されます。続けて電話番号を登録できます。

(完了) を押すと着信拒否設定画面になります。(着信拒否を設定する操作2 [下記](#))

お知らせ

入力した電話番号がアドレス帳に登録されているときは、操作5の画面にアドレス帳に登録してある名前が表示されます。

「機能番号35 名前表示」が [P307](#)「ON」設定のとき

着信拒否を設定する

1 「指定番号拒否」を選択

 (選択)

選択のしかた (機能番号 45 操作1~2 [P319](#))

着信拒否を設定する電話番号 (または名前) を選択します。

2 (完了)

設定を選択します。

「ON1 (メッセージ有)」 : 応答メッセージを流して着信拒否します。

「ON2 (メッセージ無)」 : 応答メッセージを流さず着信拒否したあと、接続できなかったことを相手へガイダンスでお知らせします。

「OFF」 : 着信拒否しません。

「ON1 (応答メッセージ有)」を選択しているときは (再生) を押すと、応答メッセージを再生することができます。

3 (OK)

設定完了の画面が表示されます。

機能の使いかた

セキュリティについての機能

お知らせ

操作1の画面で **メニュー** を押すとメニューが表示されます。項目を選択し **OK** を押すとそれぞれの操作が行えます。

項目	操作内容
内容確認	登録した内容を確認することができます。
1件削除	選択した電話番号を削除することができます。
全件削除	登録してあるすべての電話番号を削除することができます。

指定番号拒否の「ON2（応答メッセージ無）」で着信拒否を設定した場合には、電話をかけてきた相手に料金はかかりません。それ以外の設定で着信拒否を行った場合には、電話をかけてきた相手に料金がかかります。
お留守番サービス **P456** もしくは着信転送サービスの無応答転送 **P472** を設定している場合、指定番号拒否をしてもお留守番サービスもしくは着信転送サービスが優先されます。

電話番号を削除する

登録した電話番号を1件ずつ、またはすべて削除することができます。

1 「指定番号拒否」を選択

選択

選択のしかた（機能番号 45 操作1～2 **P319**）
1件のみ削除するときは、削除したい電話番号を選択します。

2 **メニュー**

機能メニューが表示されます。
「1件削除」：1件のみ削除
「全件削除」：すべて削除
例：「1件削除」

3 **OK**

「YES」を選択

削除確認の画面が表示されます。
中止するときは「NO」を選択します。

4 **OK**

削除完了の画面が表示されます。

機能番号452 非通知拒否

1 「非通知拒否」を選択

選択のしかた（機能番号 45 操作1～3 **P319**、**P320**）

2 **選択**

設定選択画面が表示されます。
設定を選択します。
「ON1（メッセージ1）」：応答メッセージ1を流して着信拒否します。
「ON2（メッセージ2）」：応答メッセージ2を流して着信拒否します。
「OFF」：着信拒否しません。
「ON」を選択しているときは **再生** を押すと、応答メッセージを再生することができます。

3 **OK**

設定完了の画面が表示されます。

機能番号453 公衆電話拒否

1 「公衆電話拒否」を選択

選択のしかた（機能番号 45 操作1～3 **P319**、**P320**）

2 「機能番号452 非通知拒否」の操作2～3を行う

設定完了の画面が表示されます。

機能番号454 通知不可拒否

1 「通知不可拒否」を選択

選択のしかた（機能番号 45 操作1～3 **P319**、**P320**）

機能の使いかた
セキュリティについての機能

2 (選択)

設定の選択画面が表示されます。
設定を選択します。
「ON1 (メッセージ有)」: 応答メッセージを流して着信を拒否します。
「OFF」: 着信を拒否しません。
「ON」を選択しているときは (再生) を押すと、応答メッセージを再生することができます。

3 (OK)

設定完了の画面が表示されます。

機能番号455 着信履歴保存

指定番号で着信拒否した着信の、着信履歴への保存をON / OFFすることができます。

1 「着信履歴保存」を選択

選択のしかた (機能番号 45 操作1 ~ 3 [P319]、[P320])

2 (選択)

「ON」を選択

保存しないときは、「OFF」を選択します。

3 (OK)

設定完了の画面が表示されます。

機能番号456 着信拒否解除

指定番号拒否、非通知拒否、公衆電話拒否、通知不可拒否をすべてOFFにすることができます。着信拒否解除を行っても、指定番号拒否に登録した電話番号は削除されません。

1 「着信拒否解除」を選択

選択のしかた (機能番号 45 操作1 ~ 3 [P319]、[P320])

2 (選択)

「YES」を選択

解除確認の画面が表示されます。
中止するときは「NO」を選択します。

3 (OK)

解除完了の画面が表示されます。

機能番号46 リセット

メモリの登録内容や機能などの設定内容を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

- ・メモリリセット (機能番号461)
- ・機能リセット (機能番号462)
- ・オールリセット (機能番号463)

1 (メニュー) 4 た 6 は

「リセット」の項目選択画面が表示されます。

機能番号461 メモリリセット

メモリに登録した情報を一度に削除することができます。リセットされるメモリ情報については [P326] をご参照ください。

1 (メニュー) 4 た 6 は 1 あ

2 ロックNo.を入力する

4桁の数字を入力します。
ロックNo.は「*」で表示されます。

リセット中の画面が表示されたあと、リセット完了の画面が表示されます。

機能の使いかた
セキュリティについての機能